

里山に託す私たちの未来

徹底討論・里山をいかに守り活かすか!



日時 2004年2月14日(土) 午前10時~午後4時

場所 千葉県立中央博物館 1階講堂

主催 里山シンポジウム実行委員会(仮称)

連絡先 千葉県庁みどり推進課

TEL: 043-223-3684
FAX: 043-224-4108



里山とは

自然と調和・共存する人々の生活に育まれた
森林・草地から水田や畑、川沼・水辺、そして集落を含む
人と自然と文化とが一体となった空間です

主旨

里山は、自然と人の調和・共存の場であり、現在および未来の人々にとって大きな価値を有します。この里山を保全・再生するに際し、千葉県「里山条例」は社会的にも重要な意義をもち、全国から注目されています。

しかし、里山の保全・再生を各地の現場に根付かせ、その活用をはかるには、行政はじめ農家、市民・NPO、研究者等が力を合わせた取り組みが求められます。

里山条例の施行を記念して制定された「里山の日」5月18日を、里山の保全・再生の新たな取り組みの出発とするためにも、これに向け、農業・林業をはじめ、文化、教育、医療、福祉、生物、観光、水循環、産廃、政策等、多くの分野の関係者が互いに学び、協力し合う集いとして「里山勉強会」を発足させました。

この勉強会では、多くの人々の参加を求め、里山の現状と課題の抽出・整理を当面の目標としつつ、これをもとに里山の保全・再生のさらなる現場展開を目指すものです。

プログラム

10:00~10:05	主催者代表挨拶	金親博榮
10:05~10:20	主旨説明	栗原裕治
10:20~11:00	里山整備の展望	大槻幸一郎千葉県副知事
11:00~11:30	里山保全への新たな取り組み	◇国の農村政策 田中卓二
11:30~12:00	里山保全への新たな取り組み	◇国の林野政策 内田敏博
12:00~13:30	昼食、交流・情報交換会	
13:30~16:00	パネルディスカッション、質疑応答	

パネルディスカッション

国の農村政策	田中 卓二	農林水産省農村振興局農村整備課
国の林野政策	内田 敏博	林野庁森林整備部森林保全課
林業従事	金親 博榮	千葉市森林組合副組合長
農業従事	所 英亮	元多古町農業委員会会長
保全活動団体	小西由希子	NPO法人ちば環境情報センター代表
市町村の里山政策	石原 正規	我孫子市手賀沼課
県の里山行政	齋藤 勝義	千葉県農林水産部みどり推進課
コーディネーター	中村 俊彦	千葉県立中央博物館生態・環境研究部長

※敬称略



イラスト・デザイン 松下優子